

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月24日

長崎市長 鈴木 史朗 殿

提出者

住 所 長崎市住吉町20番38号3階

氏 名 株式会社 杉田産業

代表取締役 杉田裕之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 095-849-1501

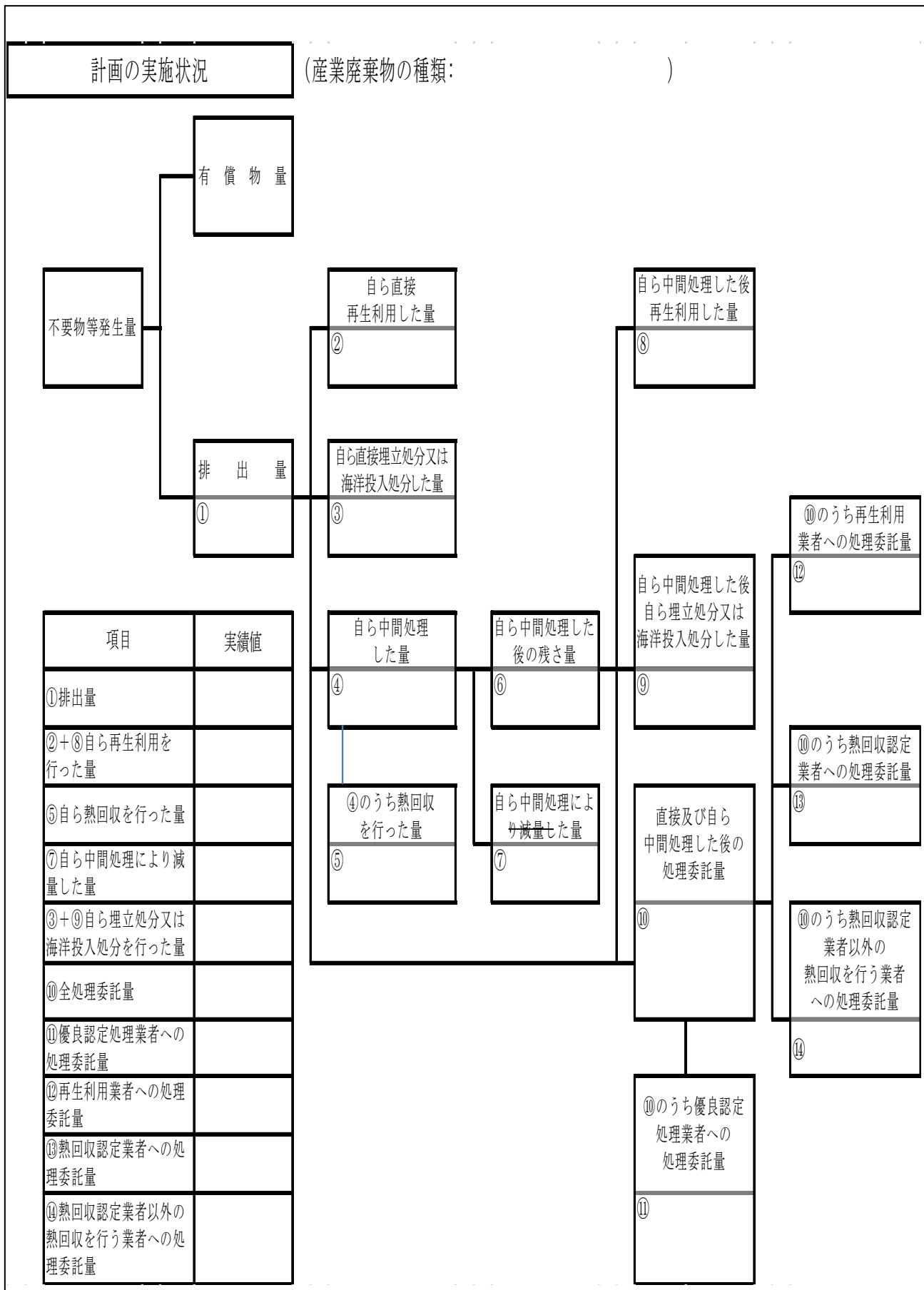
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名 称	株式会社 杉田産業
事業場の所在 地	長崎市住吉町20番38号3階
事業の種 類	職別工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期 間	平成6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出 量	3627.339 t	全処理委託 量	2412.339 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の 量	1215.000 t	優良認定処理業者への 処理委託 量	109.915 t
自ら熱回収を行 う 産業廃棄物の 量	t	再生利用業者への 処理委託 量	2403.051 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の 量	t	認定熱回収業者への 処理委託 量	t
自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行 う 産業廃棄物の 量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託 量	t

(第2面)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : がれき類)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 3,504.366 t

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分処分
又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

項目 実績値

①排出量 3,504.366 t

②+⑧自ら再生利用を行った量 1,215.000 t

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入

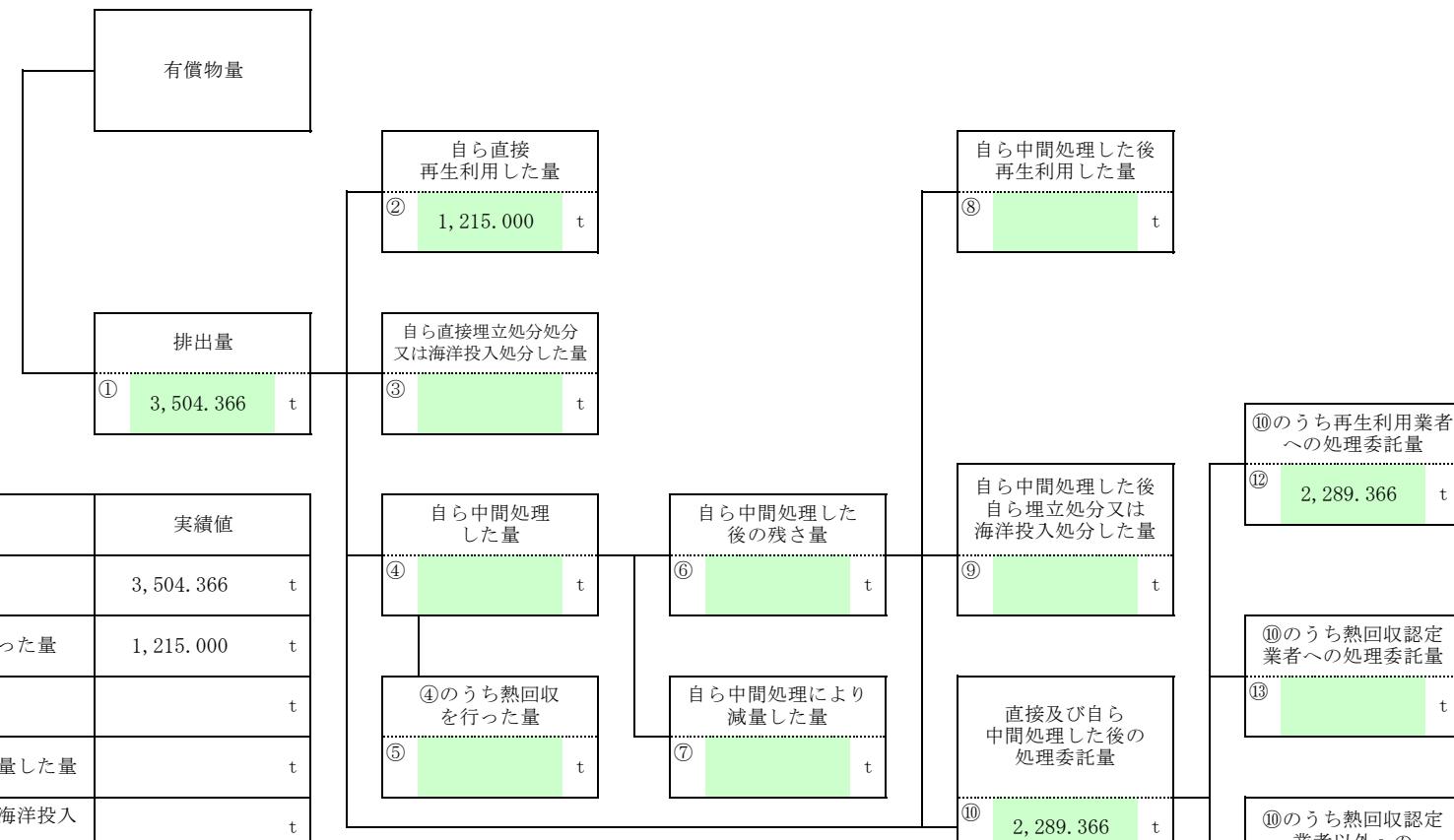
◎ 金庸筆下人物

Table 1. Summary of the main characteristics of the four groups of patients.

◎行主利用業者 10) 处理要証量 2,200,000 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量

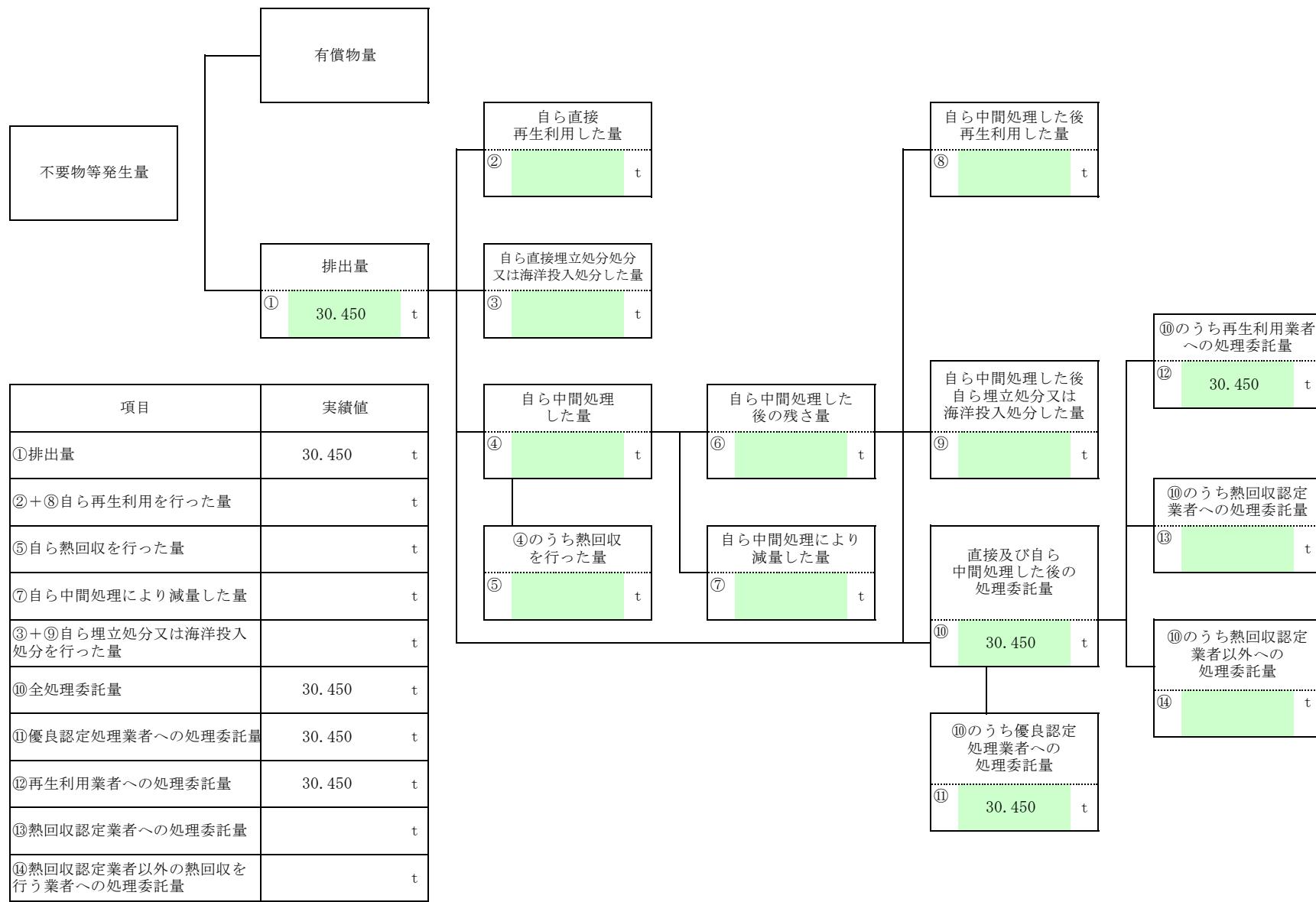
④燃回収認定業者以外の燃回収を行なう業者への処理委託量



(第2面)

計画の実施状況

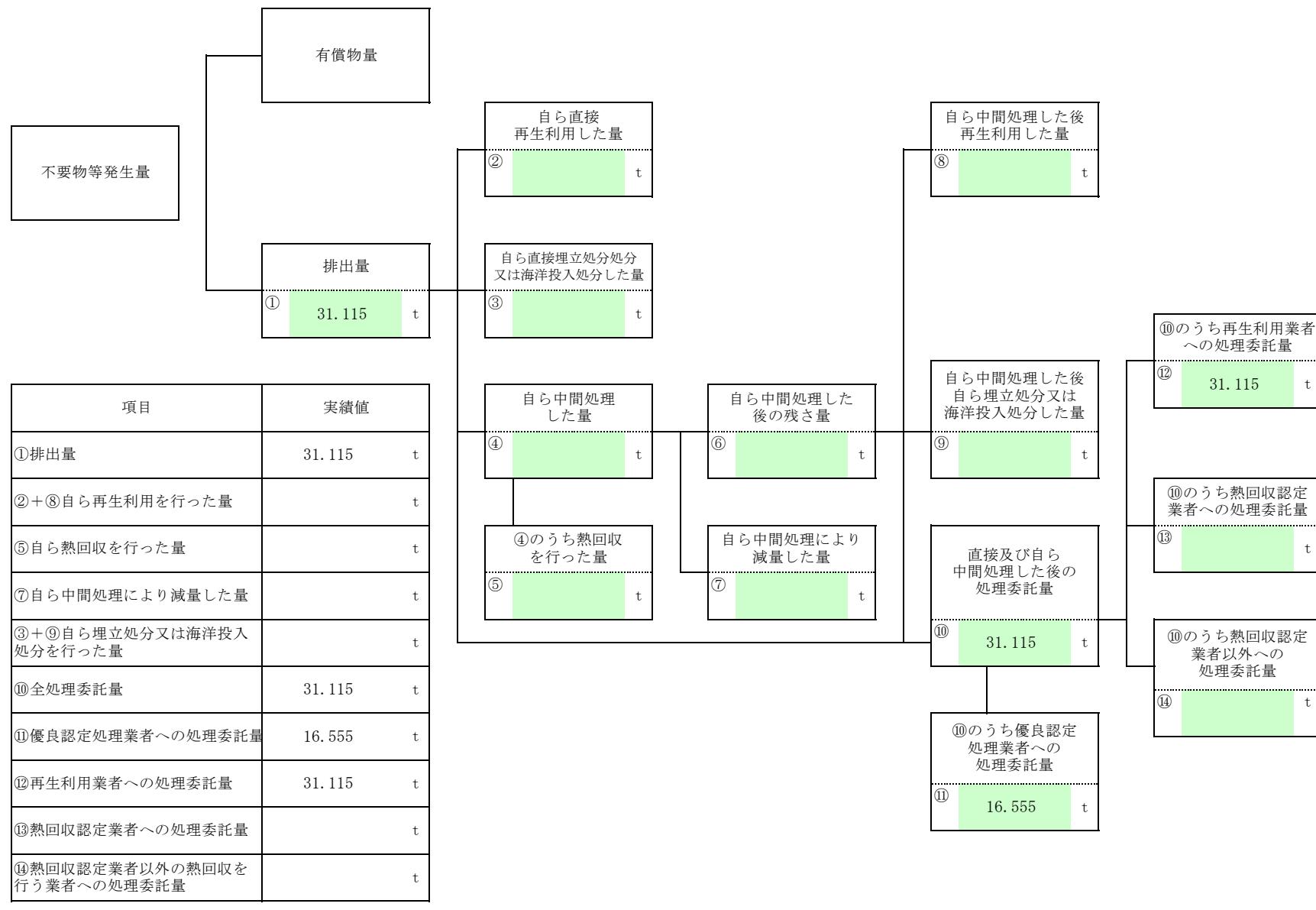
(産業廃棄物の種類 : 木くず)



(第2面)

計画の実施状況

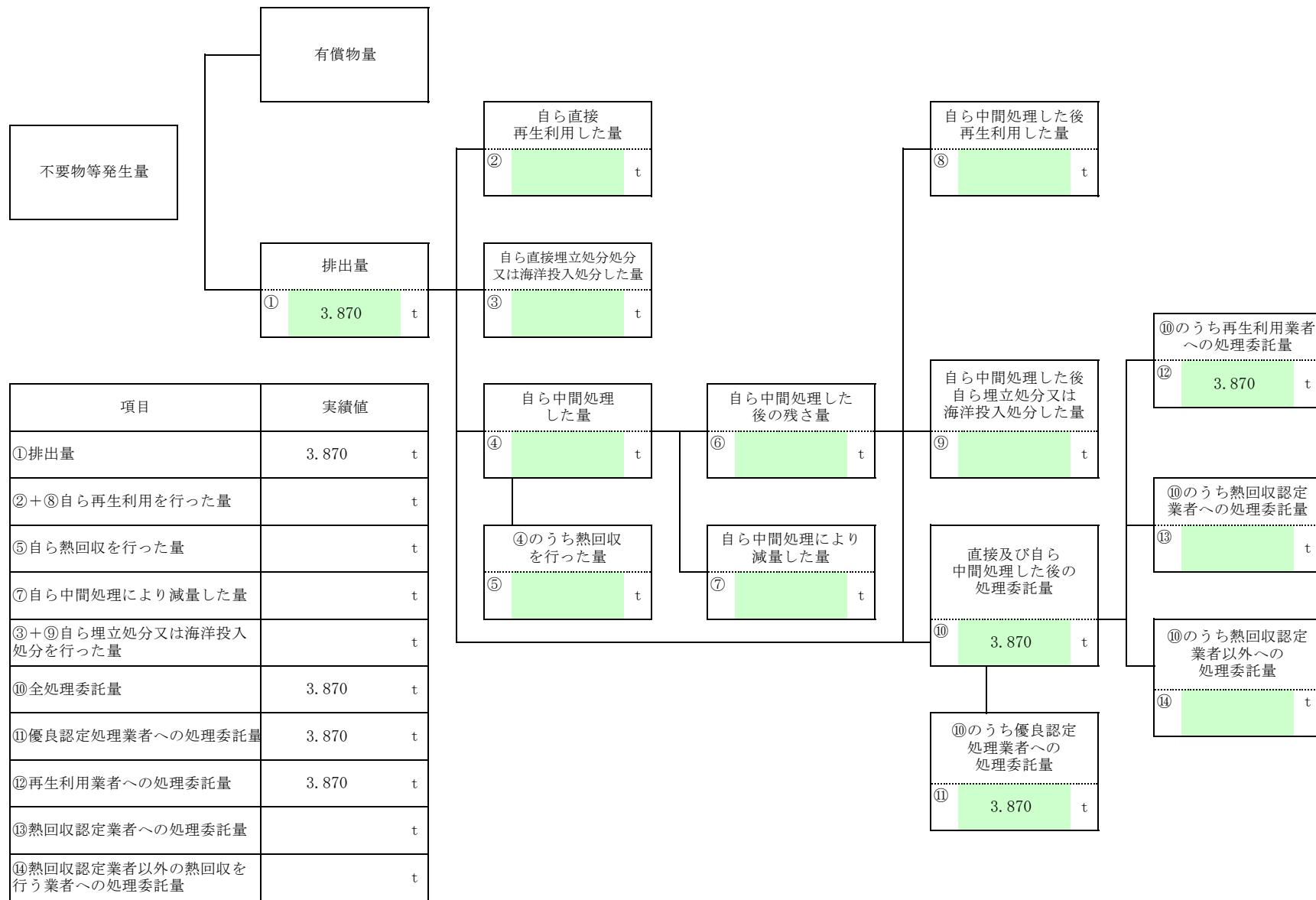
(産業廃棄物の種類 : 廃プラスチック類)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃石膏ボード)

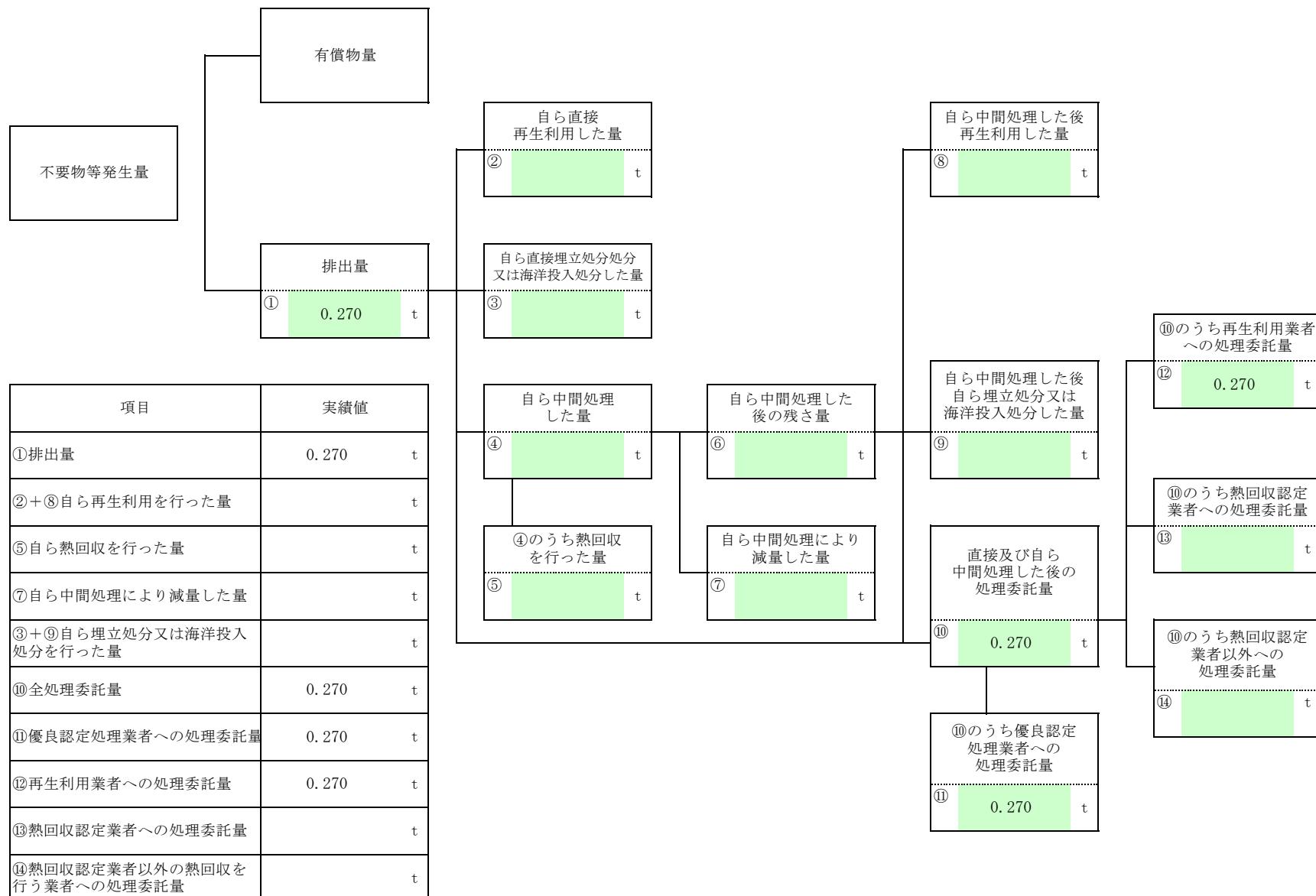


(第2面)

計画の実施状況

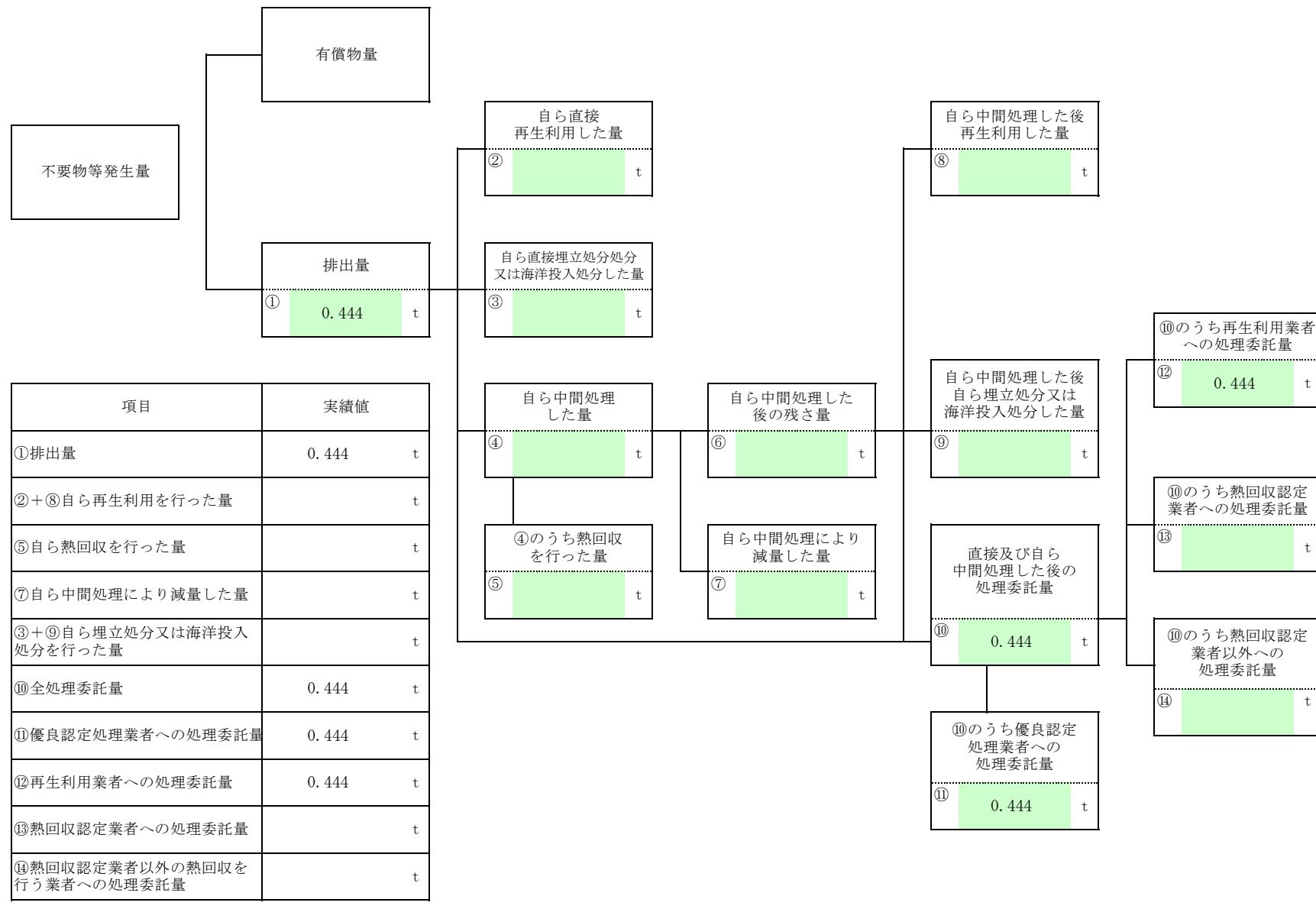
(産業廃棄物の種類 : 紙くず)

(第2面)



計画の実施状況

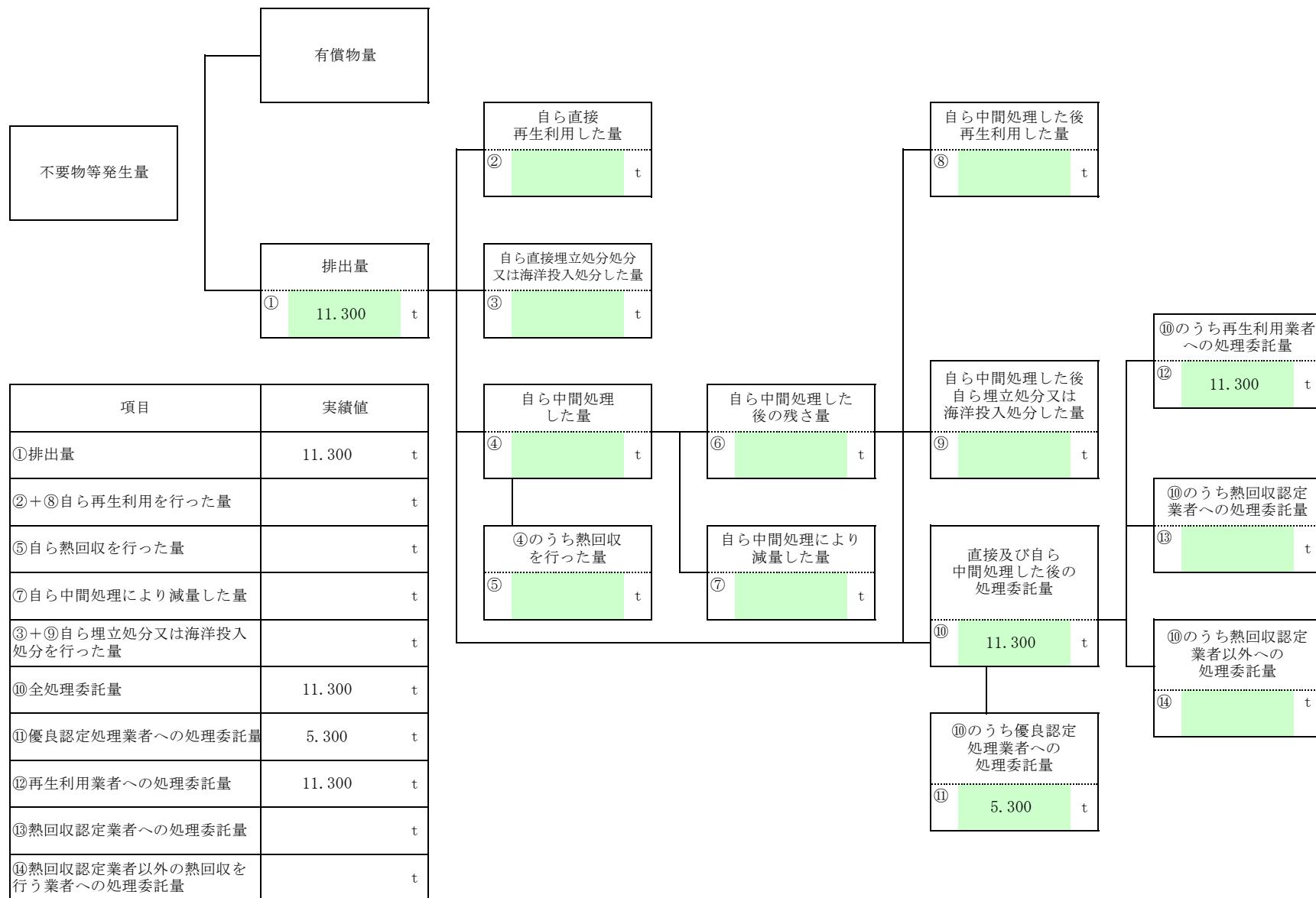
(産業廃棄物の種類 : 繊維くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

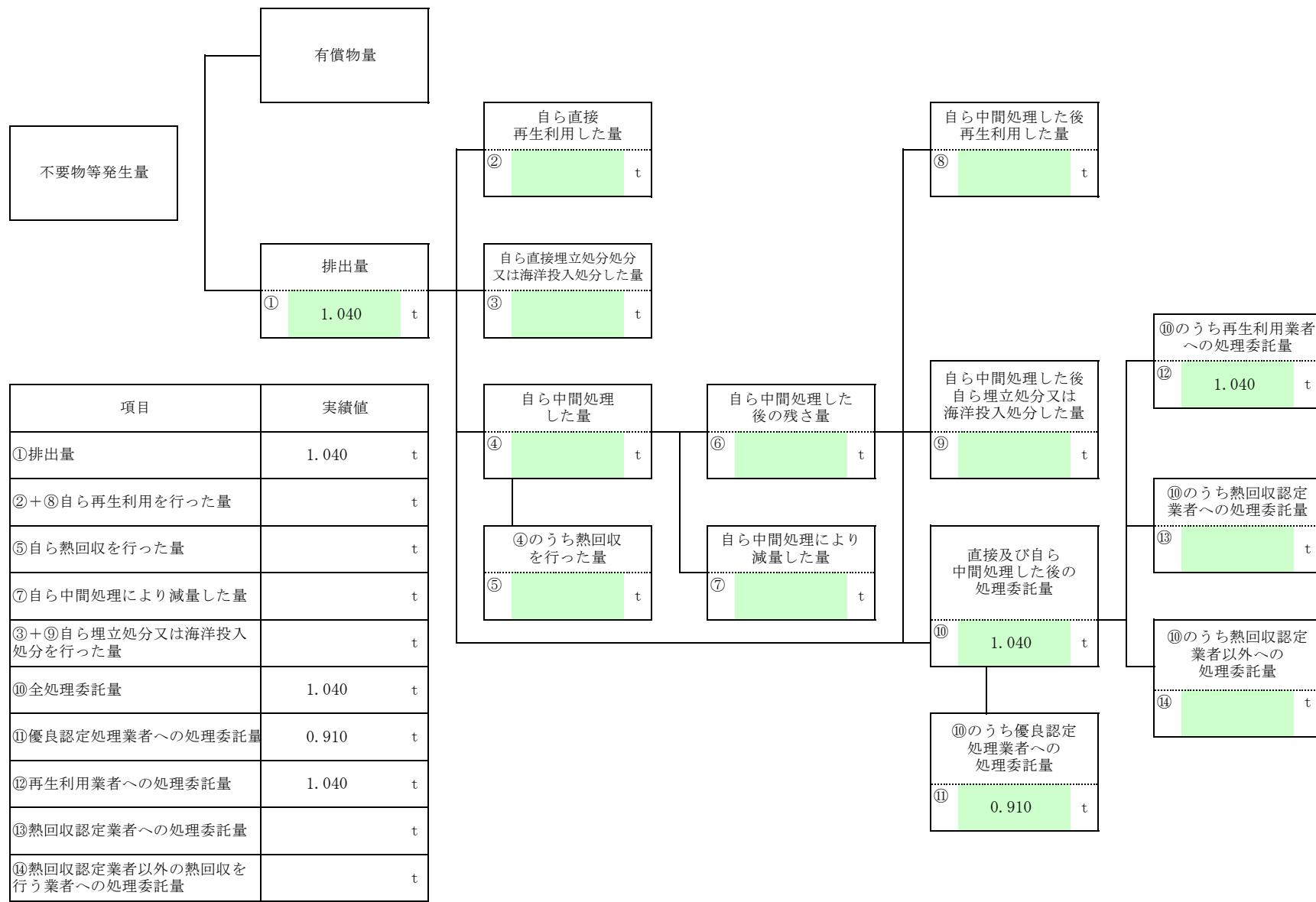


(第2面)

計画の実施状況

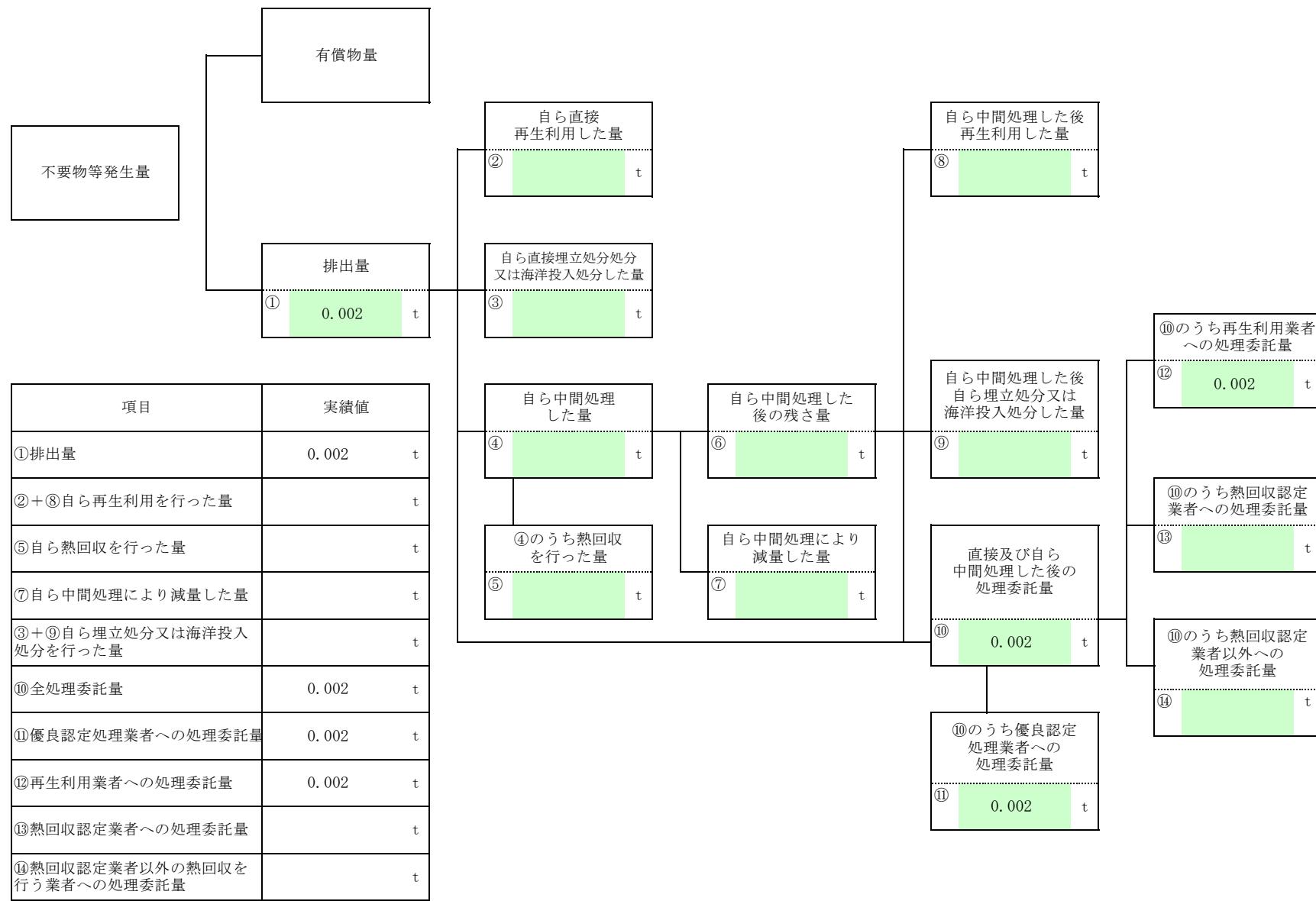
(産業廃棄物の種類 : 混合廃棄物)

(第2面)



計画の実施状況

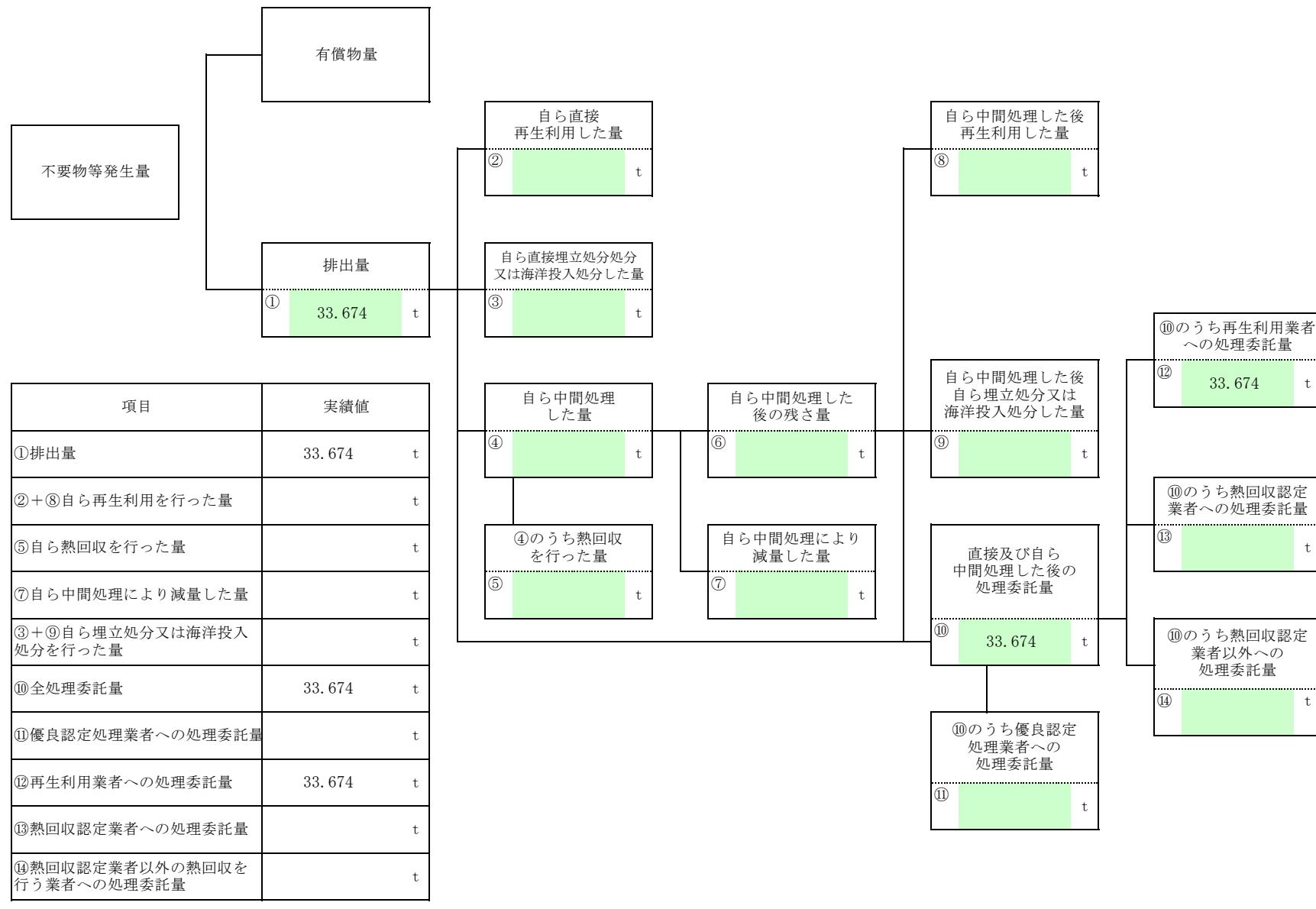
(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管))



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 金属くず)

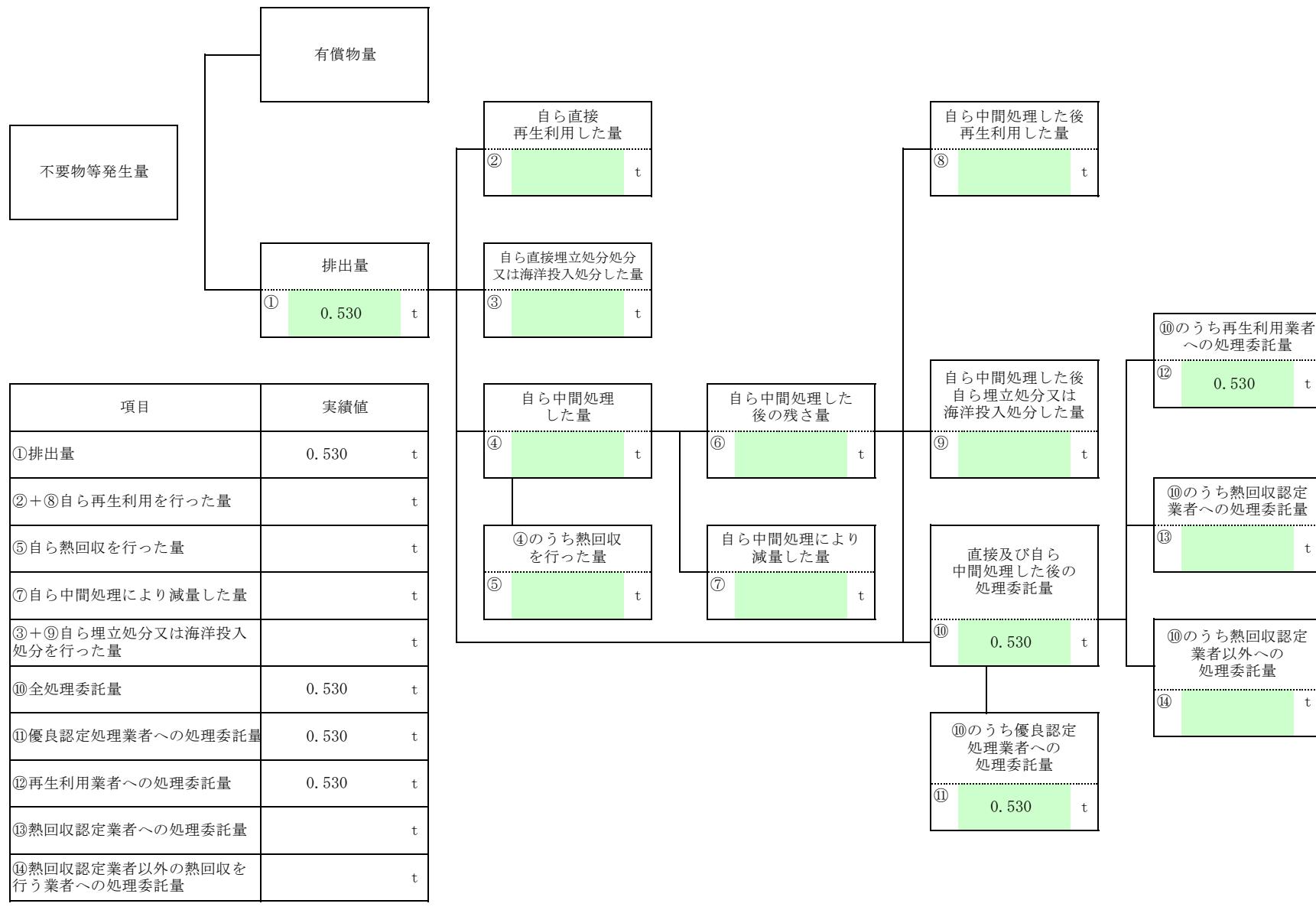


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃油)

(第2面)



計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：建設汚泥

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0 99

自ら直接 再生利用した量

自ら直接埋立処分処分
又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

項目 実績値

①排出量 0.99 t

②+⑧自ら再生利用を行った量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入

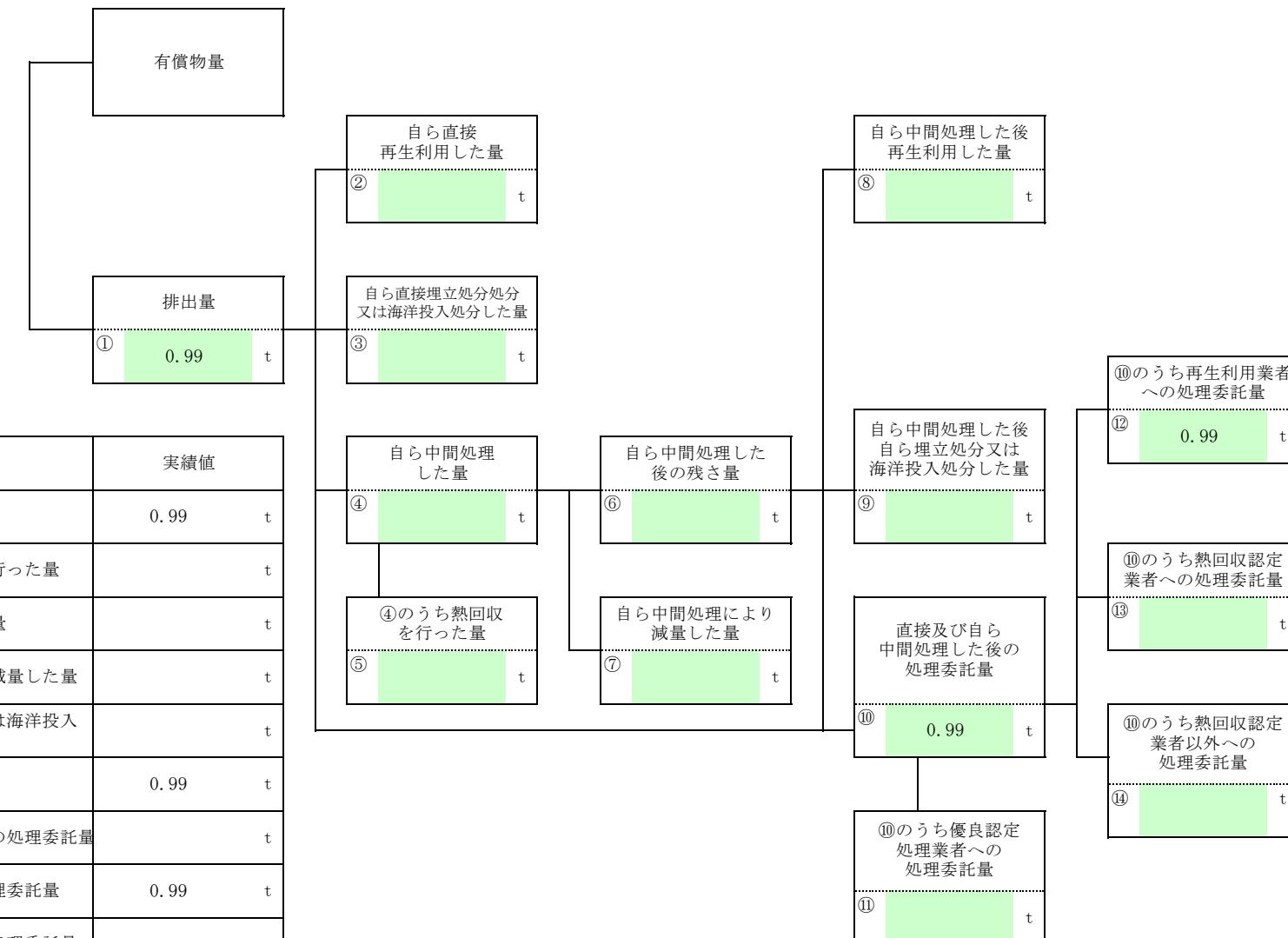
◎ 4月 月刊JAPAN

--	--

已向里向用業者：辦理要點至 6.00

◎ 無回収認定業者による処理要証

行う業者への処理委託量



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 石綿含有産業廃棄物)

(第2面)

